

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	区域まちづくり事業(中区)				シート番号	212-004	
担当部署名	中区役所	局	部	企画総務	課	評価責任者(課長名)	竹内

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	7	地域主権を確立し、真の自治都市を実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	4	区域の特色を活かしたまちづくりの推進	有
	2	事業開始年度	平成 28 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画	中区まちづくりビジョン			
5	事業実施の経緯	平成27年度まで、各区で「区民まちづくり基金事業(平成18年度から)」「区局連携事業(平成25年度から)」「区域環境整備事業(平成26年度から)」に取り組んできたが、区役所予算制度の改善の一環として、当該3事業を「区域まちづくり事業」として統合した。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	区域住民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	区民のニーズや区域の実情などをふまえながら、区役所が主体的に区域の特性をいかした魅力あるまちづくりを推進することを目的とする。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	区民評議会答申や区民ニーズを踏まえ、区役所や区役所と区民との協働による実行委員会等が主体となって、区の特性に適合する様々な事業を企画・立案する。また、事業所管局と連携し、区民ニーズを踏まえた施設整備を行う。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 中区ふれあい事業推進委員会、中区安全安心まちづくり協議会				

Ⅲ. 投入量

事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	124,756	79,946	146,754	97,659	239,731	185,169	142,691	
	主な事業費内訳	中区区民フェスタ事業	千円	5,629	5,568	5,635	5,554	5,063	4,989	5,695
		情報発信講座開催事業	千円					1,403	255	1,231
		防災まちづくり事業	千円	1,000	821	1,000	916	2,000	1,904	2,000
		区局連携事業・区域環境整備事業	千円	60,438	57,879	109,563	69,551	200,828	167,207	107,877
	財源内訳	国・府支出金	千円							
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		市債	千円	13,900	20,200	32,800	16,200	90,700	60,400	62,800
		その他(区民まちづくり基金、利子収入)	千円	105,600	59,656	113,900	81,459	149,031	124,769	79,824
		一般財源	千円	5,256	90	54	0	0	0	67
	12	人件費 (b)	千円	83,277	83,277	90,597	90,597	89,612	89,612	82,930
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	208,033	163,223	237,351	188,256	329,343	274,781	225,621	

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	区域まちづくり事業(中区)	シート番号	212-004
-------	---------------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)》

#### ロジックモデルの考え方



#### 事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	区民フェスタ事業や防災まちづくり事業、子育てイベント、区民の健康づくりにかかわる事業等、様々な区民ニーズを踏まえた事業を実施し、区民との協働によるまちづくりに寄与することができた。また、区内の道路等危険箇所を改良することにより、事故や渋滞の発生の防止に繋がった。						
	15	事業実施数	事業	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				実績値	33	33	40	33
				達成率	112%	124%	121%	
				評価	良い	大変良い	大変良い	
			算出方法・設定根拠など					
			ソフト・ハード事業の実施合計数					
	16	区民ニーズや区域の実情などをふまえながら、区役所がより主体的に区域のまちづくり事業を推進						
			目標に対する実績					
			区民評議会、区教育・健全育成会議からの答申や区民ニーズを踏まえ、主体的に事業を企画・実施することができた。					

#### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
17	①	事業実施数	事業	37	41	40	
	②	上記①にかかる年間経費	千円	163,223	188,256	274,781	
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	4,411,432	4,591,610	6,869,525	
	備考(算出についての説明等)						
18			区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	①						
	②	上記①にかかる年間経費		千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)		円/単位			
備考(算出についての説明等)							

#### 業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19	区民評議会、区教育・健全育成会議からの答申を取り入れ、目標数を上回った事業を実施することができた。年間単位当たりコストが上昇しているが、単年度ハード整備の予算増によるものであり、引き続き必要な整備については市民の安心・安全の観点から推進していく。	

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	区域まちづくり事業(中区)	シート番号	212-004
-------	---------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検(必要性・有効性・効率性)	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 区民のニーズや区域の実情などをふまえ、区域の特色に応じた事業を実施することができなくなる。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 区民のニーズや区域の実情などをふまえ、区域の特色に応じた事業を実施することができなくなる。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> 各事業のニーズや予算執行状況などを踏まえ、適宜事業手法の見直しを行うことによりコスト縮減の余地はある。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> イベントや講習会などで3密を避けるため、事業参加人数や開催回数など、これまでの実施手法を見直す必要がある。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 ( ) 関連事業名 ( 区民評議会事業 ) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>理由・説明</b> ①地域ボランティアの参加等で既に実施済。 ②事業にかかる打ち合わせをWeb会議で行うなど、ICTが活用できる可能性はある。 ③既に実施済。区民評議会の答申等を区域まちづくり事業として反映・実施している。 ④区役所が主体となり、また区局連携のもと区域のまちづくり事業を実施するものであり、国などとの役割分担・連携とはなじまない。 ⑤すべての政令指定都市において、本市と同様に区に特色をいかしたまちづくり事業を実施しているが、各政令指定都市によって、区民のニーズや区に特色をいかしたまちづくり事業の性質が異なるため、サービス水準の比較は困難である。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見	コロナ禍を踏まえ、事業の規模縮小等を検討しながら、区の実情や区民のニーズを把握し、さらに区民協働、本庁所管課との連携により区域の特色あるまちづくり事業を実施する。	